

2026 Business Report

第25期ビジネスレポート

2025年4月1日 > 2026年3月31日



持続的な売上成長による規模拡大を目指し、 既存事業の効率化による収益性向上と、 必要な領域への投資を行ってまいります。

当社グループは、「with entertainment」をミッションとして掲げており、人々の期待を超えるサービスを生み続けていくことを目指しております。また、今までになかった価値を創造し、ユーザーを魅了する体験を届けていくことに努めております。中期的には、グローバルで、リアルとデジタルの融合によりIPをプロデュースする企業となっていくことを掲げており、持続的成長及び企業価値向上を目指しております。

主力のゲーム事業においては、ゲームの開発・運用が主要事業となっており、他社IPゲーム及びゲームプラットフォーム並びにオリジナルゲームの開発・運用を行っております。また、コンテンツ事業においては、IPの創出・育成を目的として小説、コミックス等の書籍、電子書籍の出版、販売を行っている他、当社の有するインターネットサービスの知見と先進的なテクノロジーを活用した新規サービスを試験的に立ち上げ、事業化に向けた試行を重ねております。



代表取締役社長 内藤裕紀

当連結会計年度における業績は、売上高17,547百万円（前期比38.7%増）、営業利益408百万円（同264.9%増）、経常利益318百万円（同498.3%増）となりました。また、前期末にリリースした新規モバイルゲームタイトル1本に関連するソフトウェア減損損失、開発中のPC・コンソールゲームタイトルに関連するソフトウェア仮勘定減損損失を計上したこと等で特別損失2,051百万円を計上したこと及び当社連結子会社2社の株式を売却したことにより特別利益として関係会社株式売却益2,570百万円を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は213百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失1,035百万円）となりました。

ゲーム事業

ゲーム事業においては、2024年10月にリリースした自社配信タイトル『Wizardry Variants Daphne』及び運用中の複数のタイトルから収益を獲得しております。

一方で、前期末にリリースしたモバイルゲームタイトルにおいて、売上高が想定を下回る推移となったことから、将来収益の再評価を行い、投資額の回収可能性を算定した結果、当第1四半期において、当該ゲームアプリに関連する資産を減損処理しております。また、売り切り型のPC・コンソールゲームタイトルにつきまして、これまでの事業実績を踏まえて、収益性的見通しを保守的に見直した結果、ソフトウェア仮勘定に計上している開発中タイトルの資産を減損処理しております。

売上高につきましては、一部の運用タイトルが前期を下



回る推移となりましたが、2024年10月にリリースした『Wizardry Variants Daphne』が1周年を迎える中で好調に推移したこと等により前期比で増加いたしました。

利益につきましては、自社配信タイトルの売上増加に伴う支払手数料等の増加及び新規タイトルのリリースに伴うソフトウェア償却費・広告宣伝費等の増加がありましたが、新規タイトルの増収効果により、前期比で増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は16,796百万円（前期比40.9%増）、セグメント利益は1,277百万円（同30.8%増）となりました。

コンテンツ事業

コンテンツ事業においては、IPの創出、育成、収益化を目的として出版事業・アニメ事業・MD（マーチャンダイジング）事業に取り組む中、ライトノベルレーベル「DREノベルス」とコミックレーベル「DREコミックス」から毎月刊行を実施しております。また、当社の有するインターネットサービスの知見と先進的なテクノロジーを活用した新たなサービス開発等を実施しております。

売上高につきましては、2023年秋から「DREコミックス」の刊行を開始しており、電子版コミックスを中心に収益が増大、シリーズ累計40万部を超える人気作品を複数輩出できていること等により、前期比で増加いたしました。

利益につきましては、出版・アニメ・MDやAIの活用などの新規事業領域への投資を行っており、IPプロデュース人材の採用を始めとして費用先行が継続しているため、セグメント損失額は前期比で増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は852百万円（前期比9.5%増）、セグメント損失は868百万円（前期はセグメント損失864百万円）となりました。

今後の見通し

今後につきましては、ゲーム事業において、より強固な事業基盤を作るべく、運用タイトルへの追加投資や体制強化等を通じて長期安定的な収益の確保に努めるほか、新規タイトルのパイプラインの検討を進めてまいります。また、ゲーム事業においてもIPを創出し育成することを目的として、PC・コンソールゲーム領域の取り組みを実施してまいります。

コンテンツ事業においては、IPを創出し育成・収益化することを目的として開始した事業の成長を目指してまいります。また、新たな体験・市場を生み出す先進的なテクノロジーの活用を積極的に進めてまいります。

2027年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高18,000百万円（前期比2.6%増）、営業利益1,000百万円（同144.7%増）、経常利益900百万円（同182.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益600百万円（同180.8%増）を見込んでおります。

京都大学の学生だった私が2001年に設立した当社は、2026年11月で創業25周年を迎えます。創業当時の主力事業であったブログサービスから、現在の主力事業であるゲーム事業まで、時流の変化にあわせて提供するサービスは大きく変化してきましたが、どのサービス・事業も創業以来の当社のアイデンティティである「with entertainment～期待を超える」を体現した「ドリコムらしさ」の溢れるサービスであったと自負しております。新たな技術の応用、普及が進み、世界が一層劇的な変化を遂げるこれからの時代において、引き続き「with entertainment～期待を超える」の精神を大切に、世の中の変化を担い、世の中に驚きと喜び、そして幸せを届けるサービス・事業の創出に向けて邁進してまいります。今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

with entertainment ～期待を超える

中期的に目指す姿（～2031）

これからの5年間で、新規タイトルのヒット依存から脱却し、
継続的なIP創出・育成の仕組みを構築する

2021年3月期頃まで

2026年3月期末

2031年3月期まで

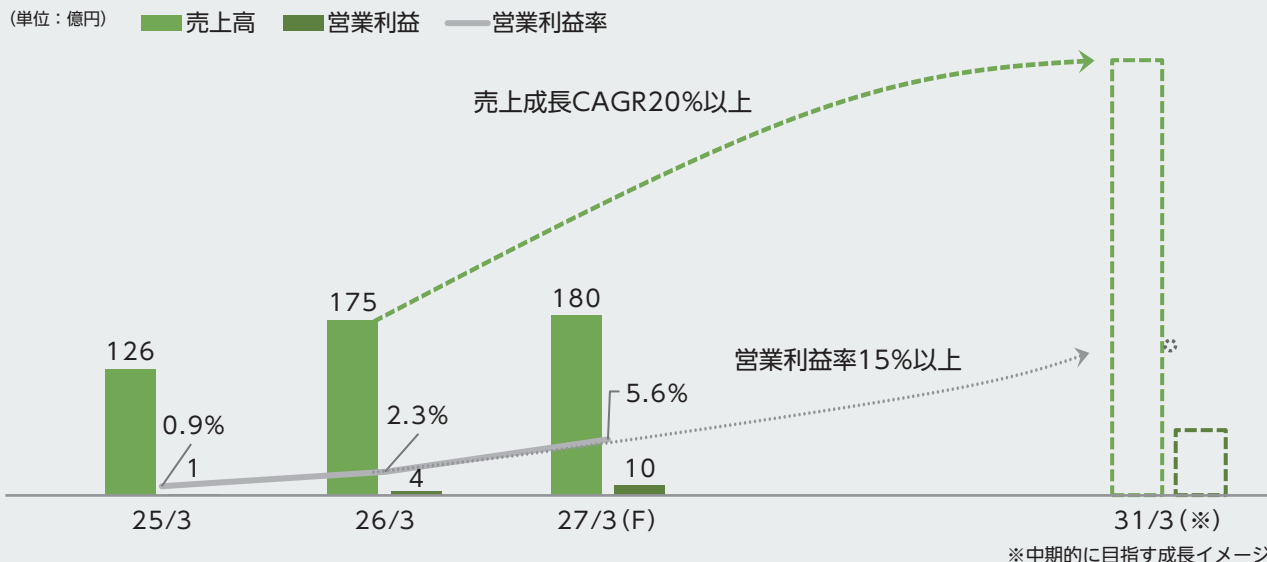
モバイルゲームに
強みを持つ企業

IPプロデュースに必要な各機能が揃い
経済規模100億円の自社IPを保有する企業



中期的に目指す成長と2027年3月期の進捗イメージ

持続的な売上成長による規模拡大を目指し、
既存事業の効率化による収益性向上と、必要な領域への投資



ゲーム

(運用・モバイル)

自社IPタイトル売上+広告宣伝投資

新規タイトルによる成長

(売切・PCコンソール)

事業立ち上げで費用先行

売上成長

利益貢献

コンテンツ

(出版・アニメ・MD)

事業立ち上げで費用先行

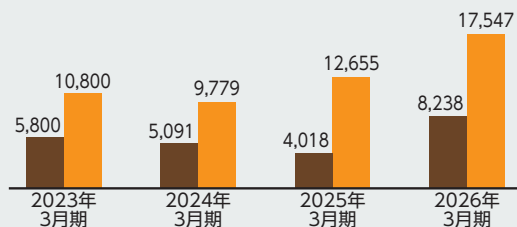
売上成長

利益貢献

連結財務ハイライト

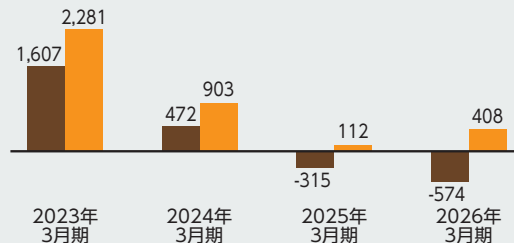
売上高

(単位：百万円) ■中間 ■通期



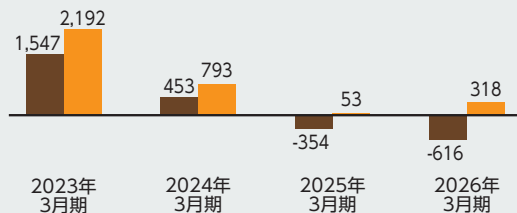
営業利益

(単位：百万円) ■中間 ■通期



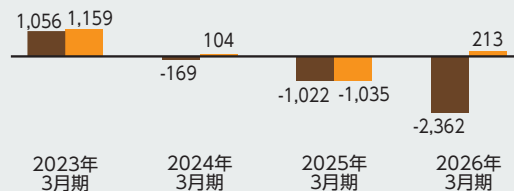
経常利益

(単位：百万円) ■中間 ■通期



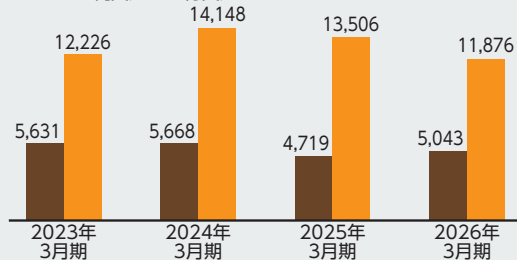
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円) ■中間 ■通期



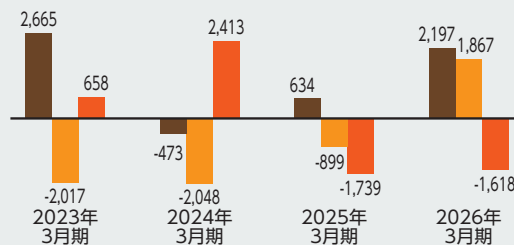
総資産・純資産

(単位：百万円) ■純資産 ■総資産



営業CF・投資CF・財務CF

(単位：百万円) ■営業CF ■投資CF ■財務CF



会社情報／株式情報 (2026年3月31日現在)

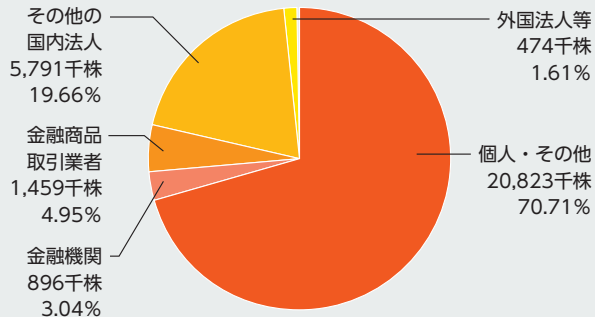
会社概要

商号 株式会社ドリコム
本社所在地 〒141-6019
東京都品川区大崎2丁目1番1号
ThinkPark Tower 19階
設立 2001年11月13日
資本金 1,906百万円
代表取締役社長 内藤裕紀
従業員数 275名(連結)
主な事業内容 ゲーム事業、出版・映像事業、
物販・イベント事業、テクノロジーソリュー
ション事業
連結子会社 株式会社ハッピーホッピーハッピー
株式会社ドリアップ

株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000株
発行済株式の総数 29,446,212株
株主数 9,383名

所有者別株式数



(注) 1.自己名義株式の単元株式数は、「個人・その他」の所有者区分に含んでいます。
2.所有株式数の割合は、小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。

役員

代表取締役社長	内藤裕紀
取締役	後藤英紀
取締役 監査等委員 (常勤)	青木理恵
取締役 監査等委員	村田雅夫
取締役 監査等委員	清水勝彦

(注) 1.青木理恵氏、村田雅夫氏、清水勝彦氏は社外取締役であります。
2.2026年6月開催予定の第25期定時株主総会において、新たに監査等委員である取締役(社外取締役)として、中山淳雄氏の選任を付議する予定です。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
内藤裕紀	9,930,000	33.76
株式会社バンダイナムコホールディングス	5,532,000	18.80
山口憲一	728,000	2.47
株式会社SBI証券	523,173	1.77
株式会社日本カストディ銀行(信託EIO)	480,400	1.63
日本証券金融株式会社	415,800	1.41
楽天証券株式会社共有口	415,106	1.41
武田壮太郎	200,000	0.68
株式会社モバテック	200,000	0.68
JPモルガン証券株式会社	183,980	0.62

(注) 1.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
2.持株比率は、小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ
公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
(受付時間 土・日・祝日・年末年始を除く9:00~17:00)
(インターネットホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
<https://drecom.co.jp/ir/public-notice/>
上場証券取引所 東証グロース



ホームページのご案内

当社webサイトでは、最新ニュースや様々な情報を発信しておりますので、ぜひご覧ください。

<https://drecom.co.jp/>

TOPページ



<https://drecom.co.jp/ir/>

IRページ

